

トルコ語のDMについて

コーパス分析結果

川口裕司（東京外国語大学）

UZMAN Mehmet（国立台湾政治大学）

ワークショップ 母語話者言語・学習者言語研究
2026年6月14日 於青山学院大学 15309 教室



対象コーパス

自由談話の主要テーマ	長さ（分:秒）	語数
1. 教育と若者	26.56	3474
2. トルコと観光 1	22.09	2517
3. トルコと観光 2	2.08	327
4. 男女関係	19.16	2992
5. 大学生活の困難	28.41	4591
6. 人類の起源	30.45	3948
7. 友人との雑談	24.41	2607
8. 生活全般の困難	10.18	1317
9. トルコの状況	8.43	1415
10. 映画・音楽・日常会話	21.00	2845
	3h14m37s	26033

内容：トルコ語自由談話

録音場所：マルマラ大学（イスタンブール）

録音日時：2014年12月

補助金：科研B 多言語コーパスの構築と
言語教育への応用可能性

参加者：大学生あるいは高等教育の教員

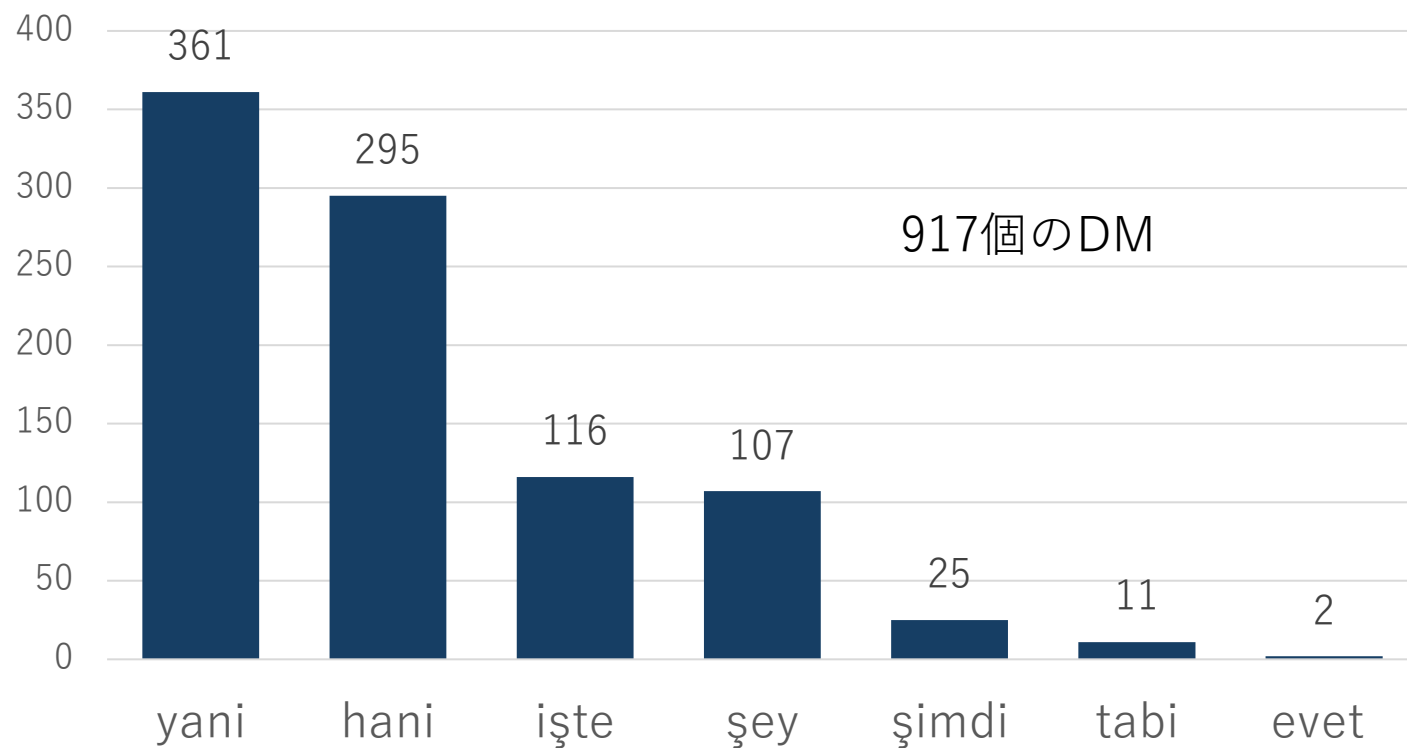
トークン数：26033 tokens

録音時間：3時間14分37秒

ここではトークンは、空白で区切られた単位を表す。

分析結果

Discourse Markers 概観



yani と hani で全体の 71.6%

yani つまり, 言い換えると (言い換え)

hani ほら (記憶を促す)

işte ほら, つまり (指示・強調)

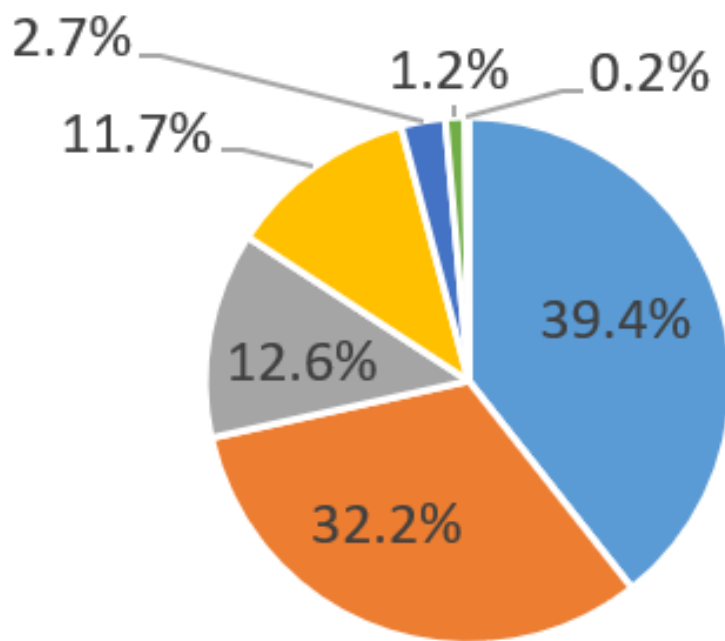
şey ええと, 何というか (ことばの置き換え)

şimdi 今, さて (話の切り替え)

tabi もちろん, 当然 (確信・同意)

evet はい (肯定の返答)

DMの全体像



■ yani ■ hani ■ işte ■ şey ■ şimdi ■ tabi ■ evet

yani つまり, 言い換えると (言い換え)

hani ほら (記憶を促す)

işte ほら, つまり (指示・強調)

şey ええと, 何というか (ことばの置き換え)

şimdi 今, さて (話の切り替え)

tabi もちろん, 当然 (確信・同意)

evet はい (肯定の返答)

DM と機能

観察されたDM機能

継続	発話を継続する
導入	話題を導入する
確信	確信をもって述べる
感情	必須ではなく、何らかのニュアンスを伝える
拡張	話題を広げる
想起	話し手・話し相手に想起させる
置換	言い換える
指示	指し示す、呼びかける
同意	同意を示す
例示	例として述べる
修復	発話を言い直す
躊躇	ためらう、言いよどむ
確認	話し相手に確認する

DMと機能：全体像

	出現数	位置	継続	導入	確信	感情	拡張	想起	置換	指示	同意	例示	修復	躊躇	確認	不明	位置
evet	2	頭		1							1						頭
hani		頭				14	1	66									頭
		中				41		135				1	5			1	中
		尾				24		6								1	尾
	295	?															?
işte		頭		1		2				9		13					頭
		中				2				49		31				1	中
		尾				4				2		2					尾
	116	?															?
şey		頭		3					3				1	2			頭
		中				1			78					16			中
		尾							2					1			尾
	107	?															?
şimdi		頭		17													頭
		中		2		3				1						1	中
		尾															尾
	25	?														1	?
tabi		頭		2	3	1											頭
		中			3								1				中
		尾			1												尾
	11	?															?
yani		頭	1			14	39						5		2		頭
		中	7			49	72						81		1		中
		尾	3			72	10						5				尾
	361	?															?

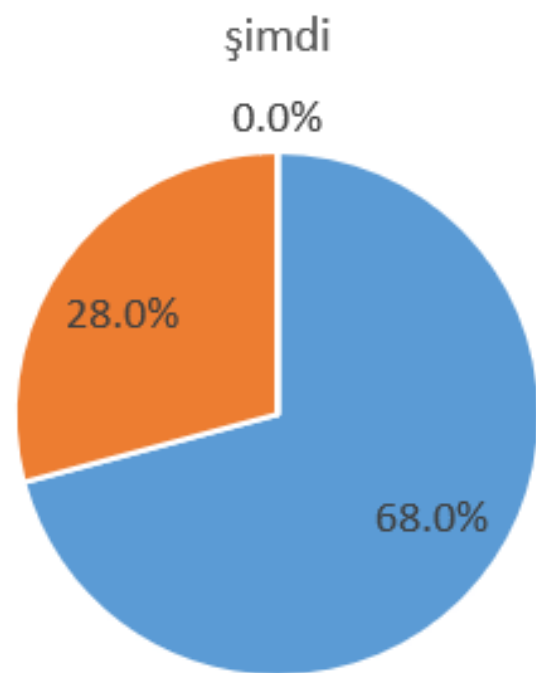
青色：出現多数

黄色：出現あり

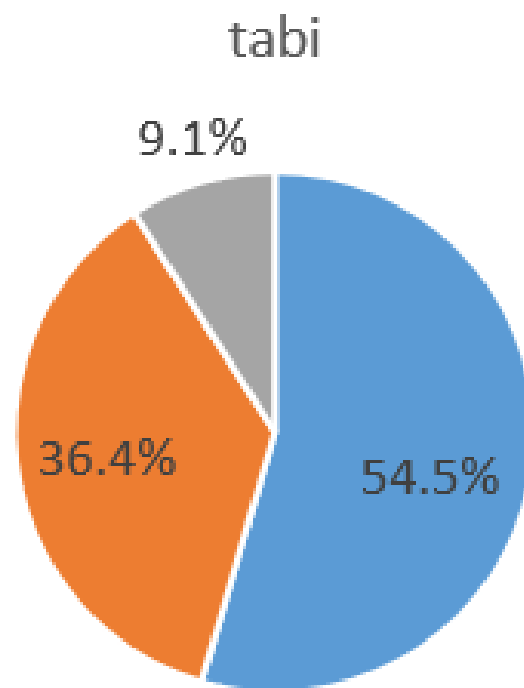
位置による特性と
機能による特性
が見られる

DM と出現位置

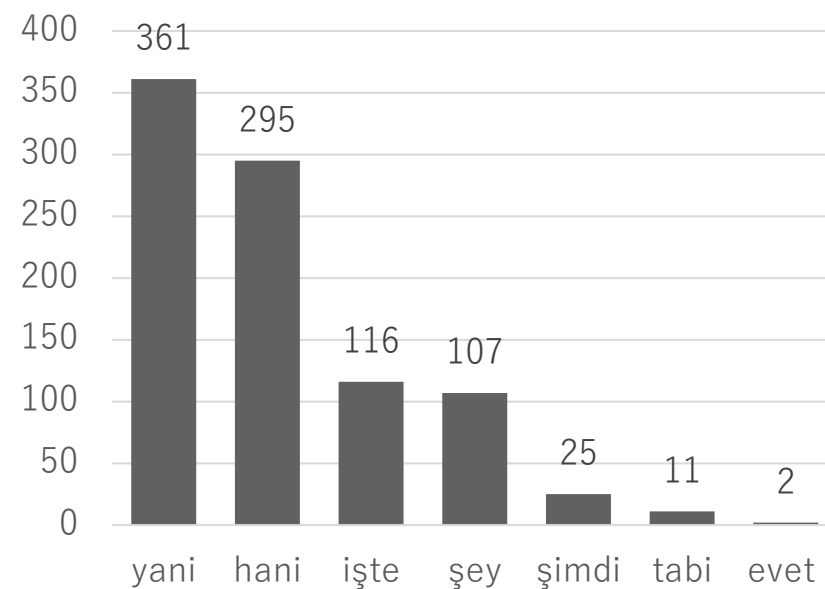
発話頭DM



■ 頭 ■ 中 ■ 尾



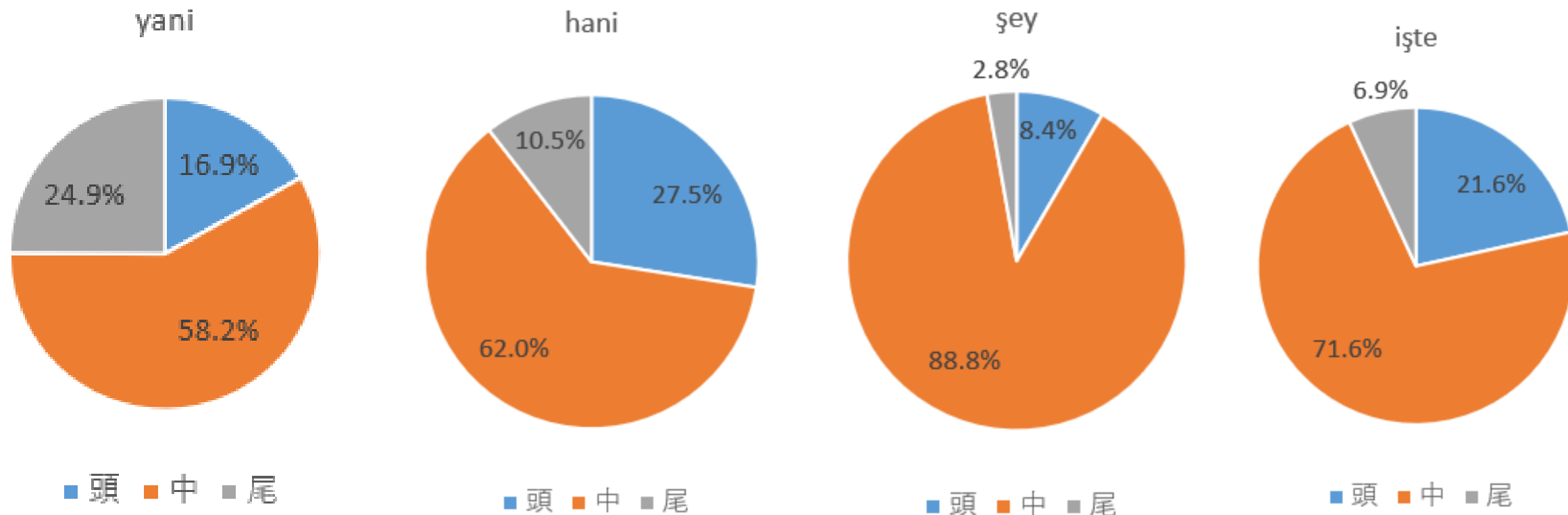
■ 頭 ■ 中 ■ 尾



şimdi 今, さて (話の切り替え)

tabi もちろん, 当然 (確信・同意)

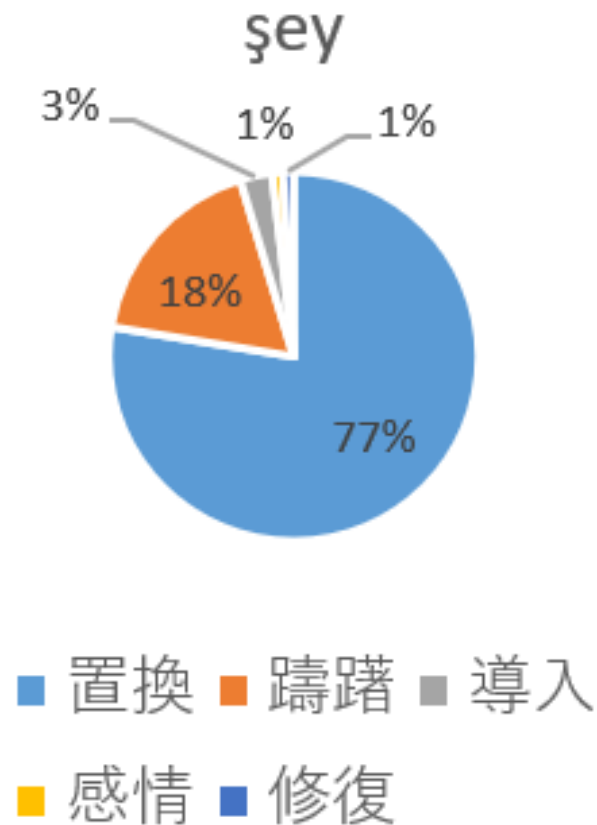
発話中DM



yani つまり, 言い換えると (言い換え) hani ほら (記憶を促す) işte ほら, つまり (指示・強調)
şey ええと, 何というか (ことばを思いだす)

DM分析

DMと機能



şey ええと, 何というか

置換 (77%) :

DD67 onu **şey** olarak aldım hani şimdi doz(.) hristiyanlar # dediğimizde işte aklımıza hemen domuz eti gelir ya # (TUFS_TR201401IS06)

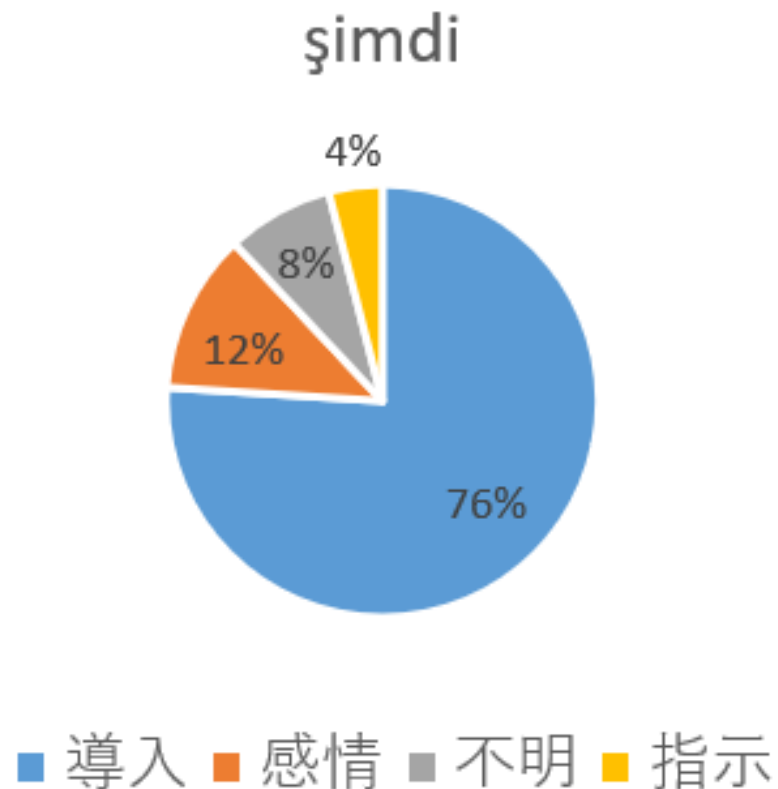
DD67 それを、**そういうもの**として捉えました。つまり、今、キリスト教徒と言うと、ほら、すぐに豚肉が頭に浮かぶでしょう

躊躇 (18%) :

CA59 or(a)daki yaşayan hristiyanlar **şey** bi(r) kere ortodoks mu çoğunluk çoğunluk olarak ya da katolik mi (TUFS_TR201401IS06)

CA59 そこに住んでいるキリスト教徒は、**ええと**、まず、全体として多数派は正教徒なのですか、それともカトリックなのですか

DMと機能



şimdi 今, さて

導入 (76%) :

HG34 - **şimdi** # unutkanlık var # ner(e)de kaldığımızı bi(r) hatırlatman lazım (TUFS_TR201401IS01)

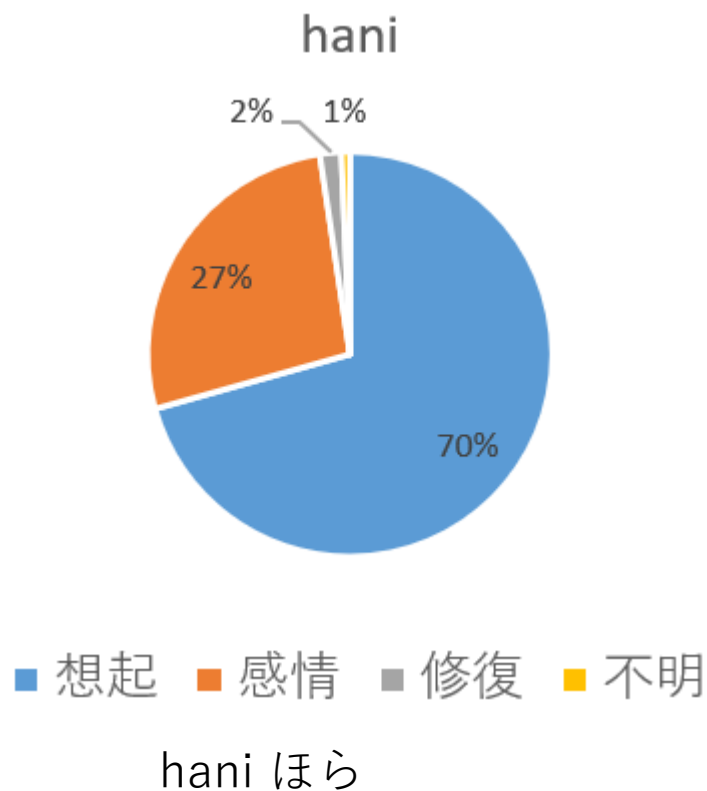
HG34 **今**、忘れたので、どこまで話したか、ちょっと思い出させてもらう必要があるね

感情 (12%) :

DD80- Antakya **şimdi yani** Türkiye Cumhuriyetine baya şey kuruluştan # sonradan eklendi (TUFS_TR201401IS06)

DD80 Antakya は、**そのつまり**、トルコ共和国に、かなり、その、建国後に、後から加えられたんだ

DMと機能



想起 (70%) :

AB10 ilk duyduğumda **hani** kadın kadın için kadınla yarış halinde kadın için hazırlanır (TUFS_TR201401IS04)

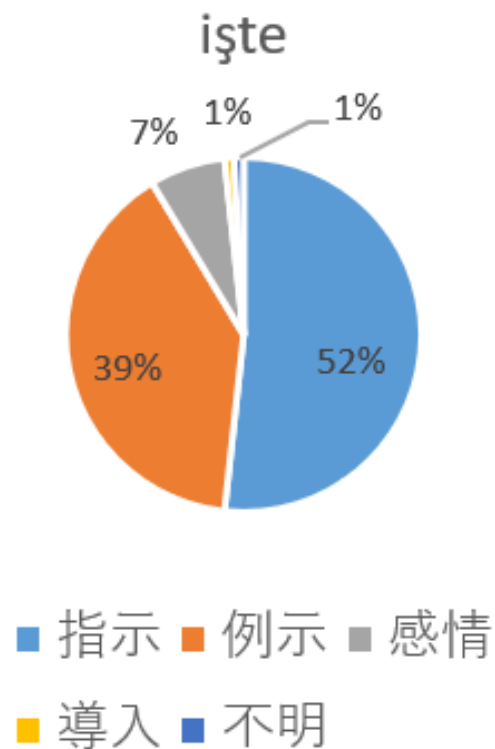
AB10 最初に聞いたとき、**ほらその**、女性は女性のために、女性と競い合う形で、女性のために身支度をする、ということだった

感情 (27%) :

CU38 - <evet> sadece bilim adamı olmak istermiş gibi **hani** (TUFS_TR201401IS05)

CU38 <はい> ただ科学者になりたかっただけみたい、**つまり**

DMと機能



işte ほら, つまり

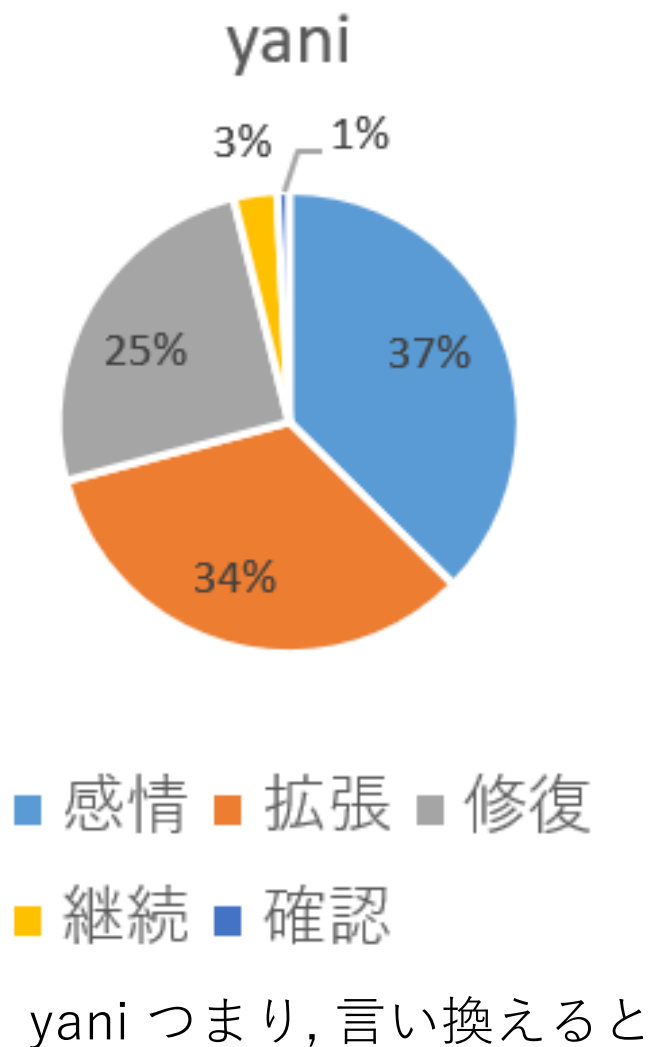
指示 (52%) :

ÖG19 sonradan iyileştiğinde **işte** 'ben hani bi(r) insana yapılabil(e)cek kadar ilaç verdim (TUFS_TR201401IS05)
ÖG19 その後、回復したときに、**ほら**、「僕は、その、一人の人間に投与できるだけの薬を与えました」と言ったんだ

例示 (39%) :

AB19 ikisi de üstü çıplak şekilde yatıyo(rlar) **işte** belden aşağısına havlu seriyo(r)lar (TUFS_TR201401IS04)
AB19 二人とも上半身裸の状態で横になっていて、**つまり**、腰から下にはタオルをかけているんだ

DMと機能



感情 (37%) :

AB6 onlar ne görüyo(r)lar)sa onu söylüyo(r)lar **yani**
(TUFS_TR201401IS04)

AB6 彼らは見ているものを、そのまま言っているんだ、**その**

拡張 (34%) :

HG51 hayvanlar da böyledir **yani** mesela onun yularını bi(r) çekiş şekli atın
hangi hareketi alması gerektiğini ata hatırlatıyo(r)
(TUFS_TR201401IS01)

HG51 動物もそうなのです。**つまり**、たとえば、その手綱の引き方ひとつで、
馬がどの動作をすべきかを馬に思い出させるのです。

修復 (25%) :

AB12 onun o enerjisini o zevkini görmek de insanı memnun eder **yani** onun
rahatladığını görmek de memnun eder (TUFS_TR201401IS04)

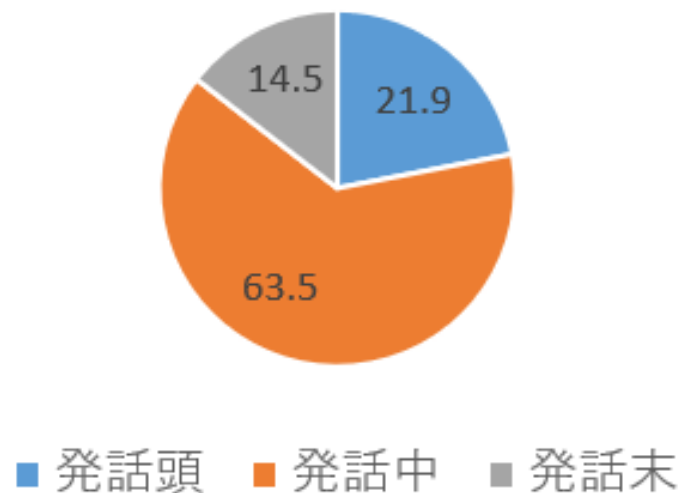
AB12 その人の熱量と、楽しさを見ることも、人を満足させます。**つまり**、
その人がリラックスしているのを見ることも、人を満足させるのです。

まとめ

分析まとめ

- yani と hani の頻度が多い（全体の71.6%）
- 現れる位置に特徴
 - 発話頭 şimdi, tabi
 - 発話中 61.5% でかなり頻繁
- DMの機能はDMごとに異なる
- ya、ya da、フィラーなどの分析
- 感情機能
- DM機能の分類はしばしば困難

出現位置 (%)



参考文献

- Altıparmak Ayşe, "An Analysis of Turkish Interactional Discourse Markers 'ŞEY', 'YANI', And 'İŞTE', Journal of Psycholinguistic Research 51, 2022, 729-762.
- Başıbüyük Kezban, Zeyrek Deniz, "Usage disambiguation of Turkish discourse connectives", Language Resources and Evaluation, 2023, 223-256.
- Dostie Gaétane (2004) *Pragmaticalisation et marqueurs discursifs* Analyse sémantique et traitement lexicographique, De Boeck.Duculot, 2004.
- Halliday M.A.K. & Ruqaiya Hasan (1976) *Cohesion in English*, Routledge, London.
- Hansen Maj-Britt Mosegaard (1998) *The Function of Discourse Particles A Study with Special Reference to Spoken Standard French*, John Benjamins, Philadelphia.
- İşsever Selçuk (1996) “Kullanımsal işlevleri açısından Türkçedeki bağlaçlar”, X. Ulusal Dilbilim Kurultayı, İzmir: Ege University Press, 83-93.
- Kawaguchi Yuji, Seimiya Takamasa, Marqueurs discursifs et leur enseignement en FLE au Japon, International Workshop : *Le français parlé et l'enseignement du FLE au Japon*, 2025/05/24, Graduate School of Humanities, The University of Osaka.
- Özbek Nurdan (1995) *Discourse Markers in Turkish and English: a comparative study*, Unpublished Ph.D. Thesis. Nottingham University.
- Özbek Nurdan (2000) “*yani, işte, şey, ya*: Interactional markers of Turkish”, *Studies on Turkish and Turkic Languages Proceedings of the Ninth International Conference on Turkish Linguistics Lincoln College, Oxford*, August 12-14, 1998, Aslı Göksel and Celia Kerslake (eds.), Harrassowitz Verlag, Wiesbaden, 393-401.
- Ruhi Şükriye (2009) “The Pragmatics of *yani* as a Parenthetical Marker in Turkish: Evidence from the METU Turkish Corpus”, 『コーパスに基づく言語学教育研究報告』 3, 東京外国語大学, 285-298.
- Schiffrin Deborah (1987) *Discourse markers*, Cambridge University Press, Cambridge.
- Schourup Laurence & Toshiko Waida (1988) *English Connectives*, くろしお出版, 東京.
- Yılmaz Erkan (2004) *A pragmatic analysis of Turkish Discourse Particles: yani, işte and şey*. A thesis submitted to the graduate school of social sciences of Middle East Technical University.
- 川口裕司, Uzman Mehmet, 日本語を母語とする学習者のトルコ語yaniの使用について, 『外国語教育研究』 48, 2025, 20-39.

ご清聴ありがとうございました。

本研究は

基盤研究B 24320102

および

基盤研究B 25K00427



の補助を受けました。

https://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ykawa/assets/images/20260614_Workshop_Turkish_Corpus_DM.pdf